



## ★2さいMくんのママ

息子は、イスに座らせても居心地が悪そうで、直ぐに動いて立ちあがってしまう、歩くようになると、常に動き回るので目が離せなくなりました。1才半検診時に他のお子さんは、親の側で遊んでいられるのに、息子はじっとしてられず、興味のあるものに次々に目が移り動き回っていました。

息子は、691gの超低体重児で産まれました。低体重児のフォローアップ外来で落ち着きのないことを主治医に相談すると、支援制度がある事を知りました。当初は居住する区役所から渡された施設リストを基に探しましたが2才という年齢では、通える施設も限られていて困っていたところ、知見の友人に現在お世話になっている“ころん”の存在を教えて頂きました。

直ぐに“ころん”に連絡し、体験レッスンを受けることになりました。その時に指示された持ち物が、他の施設とは大きく異なっていました。上履き、着替え、コップ、歯ブラシ、フックに掛けられるタオル、水筒(取っ手の付いたもの)、お弁当、ランチョンマット、まるで幼稚園入園前準備をしているかのようでした。

体験レッスン当日、お教室を拝見して期待が膨らみました！子供が楽しめる興味が沢山湧いてくる可愛い空間だったからです。広々とした吹き抜けの広間には黄色い屋根のお部屋やバンガロー風な小屋があり、小屋の中には子供達が楽しめるキッチンセットがありました。また、子供たちが楽しめる隠れ部屋も設けられており、想像力が大きくなる環境だと思いました。

レッスンは、幼稚園の1日を過ごす流れで進んでいきます。息子は座っているのが苦手で、興味があるところへ動き出してしまうのを、先生が席に戻して、側についてくれました。2階が親の待合室になっており、モニターでレッスン風景を視聴しながら息子の言動を観察することが出来ますし、また、先生方が一人一人の子供に目を配ってくれていることが直に感じられますので、親としてはとても安心して見ていられます。

体験レッスン後、先生より「M君(息子)は興味のあることには集中していられますが、どうでもいいことには注意散漫になり動いてしまいます。身辺自立が出来ていないので、出来るようにしましょう。言葉については2語文が話せるようにいきましょう」と方針のお話がありました。息子の行動についてはまさにその通りでした。行動や言葉については気にしておりましたが、身辺自立なんて考えてもいませんでした。

言葉は“ころん”に通い出す前は、単語を話せる程度でした。レッスンに通うようになり、息子が話せなかったのは親が話すように促していなかったことだと気付かされました。3語を言って2語文につながられる様に家の中でも、外出時でも繰り返し反復練習を行っていました。上着の着脱もそうですが、本人にやらせてみると息子はやってくれるのです。ズボンは腰まで下げて自分で脱がせる、靴下もしっかりですが反復練習の繰り返しで自然な動作となっています。

子供のおもちゃの貸し借りのトラブルでは、息子の気持ちになってお友達に伝えることを学びました。「お母さんは、M君の見方になってあげてください」と言われハッとしました。今までの考えではお友達に優しく・親切に貸してあげるべきと考えておりましたが、息子としてはまだその玩具で遊んでいる最中であつたのかもしれませんが。そういう時は「未だ遊んでるから後でね」と言えばいいんですよ、と先生の指示はとても適切で、丁寧に指導して下さいます。どんな些細なことも教えて下さいます。

“ころん”に通いだしてからしばらくして、言葉がどんどん溢れ出るようになってきたばかりでなく、今まで手遊びなど物まねをしなかったのが明るく楽しく歌に合わせて手を叩いている姿が見られた時は物凄く嬉しかったことを今でも記憶しております。親と子の関わり方次第でこんなにも成長してくれることを今は実感しています。通所して6ヶ月目になり、徐々にお話を聞いて座ってられるようになり、介助も減ってきました。今では自分の感情も話せるおしゃべりな子に成長しております。新たな発見として更に嬉しいことは、息子に仲間意識が出てきたことです。相手を敬い、大切にすることが育まれてきていることも嬉しく頼もしく感じられます。

また二階にある控室では他のお子さんのお母さんたちと今まで抱えてきたことを気軽にお話ができたり、お母さん方と情報を共有できることで気持ちも楽になりました。ぼそっと悩んでると言っただけでお話を聞きますよと言ってくれる優しい方たちばかりです。

これからも親子で出来るを沢山増やしていけたらと思っています。  
そして無事に幼稚園へ入園し、お友達と出会ってくれたらいいなと思います。

先生たちが肌理細やかにご指導してくだり、時には柔軟にどんなことでも聞いて下さいます。子供と一緒に親も成長できるところです。厳しいなと思った時もありますが、何かしらフォローして下さいます。季節事のイベントはサプライズもあり、感動しながら親も楽しんでいきます。“ころん”親子で笑顔が増えるそんな場所です。

